

国鉄1047名解雇撤回・JR外注化阻止 戦争と民営化の安倍政権を倒せ!

National Workers' All-Out Rally



昨年の11.3労働者集会

11.2 日比谷野音

誰でも参加できます

全国労働者総決起集会 (集会後デモ行進) 参加費500円

日 比谷野外音楽堂（東京）で11月2日、全国労働者総決起集会が開催されます。

職場に闘う労働組合を！ 戦争と民営化に反対！ 労働者の団結した力で安倍政権を倒そう！——誰でも参加できる集会です。多くのおみなさんの結集を訴えます。

集会を呼びかけるのは、関西生コン支部・港合同・動労千葉の3労組と国鉄闘争全国運動です。

私たちは、国鉄闘争を結集軸に闘う労働組合のネットワークを訴え、労働運動再生の熱い思いで年に一度の集会を重ねてきました。この集会には韓国や米国など世界の闘う労組代表も参加します。

安倍政権の暴走に怒りの声が高まっています。また、世界中で労働者の反乱が始まっています。

闘う労働組合を時代の最前線に登場させましょう。

韓国・鉄道労働組合
民営化に反対して23日間のスト

【自治体労働者も来日】

パ クネ政権が進める高速鉄道KTXの民営化に反対して、韓国鉄道労組は昨年末に23日間のストライキを行いました。セウォル号など大事故が相次ぐ中、世論の大きな支持を経て民営化反対を闘っています。民主労総ソウル地域本部と自治体労働者も多数参加します。

ロサンゼルス統一教組
解雇と戦争に反対し闘う執行部

オ バマ政権による学校民営化の焦点となっているロサンゼルスで、米軍による学校募兵活動や学校民営化と解雇に反対して、ロサンゼルス統一教組 (UTLA) で闘う執行部が誕生しました。

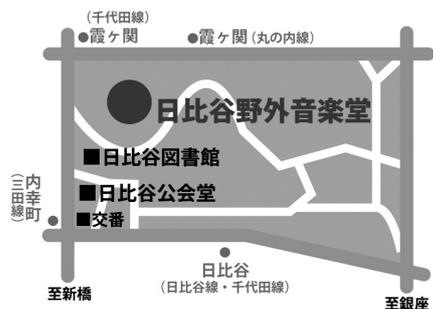
じょうだい みやこ

城臺美彌子さん
長崎被爆者・NAZENナガサキ

安 倍首相が参列した8.9長崎平和祈念式典で、「憲法を踏みしめる暴挙」と弾劾した被爆者代表の城臺美彌子さんも参加し発言します。

11月2日 (日) 正午 東京・日比谷野外音楽堂

【日比谷野音への行き方】 JR 新橋駅徒歩 15分
東京メトロ丸の内・千代田線「霞ヶ関」徒歩3分
日比谷線「日比谷」徒歩3分
都営三田線「内幸町」徒歩1分



呼びかけ 全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部 / 全国金属機械労働組合港合同 / 国鉄千葉動力車労働組合 国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動 (国鉄闘争全国運動)

【事務局】 千葉市中央区要町 2-8DC 会館 TEL.043 (222) 7207 FAX.043 (224) 7197

閣僚が次々辞任でグラグラ状態! 戦争、増税、雇用破壊に怒り高まる!!



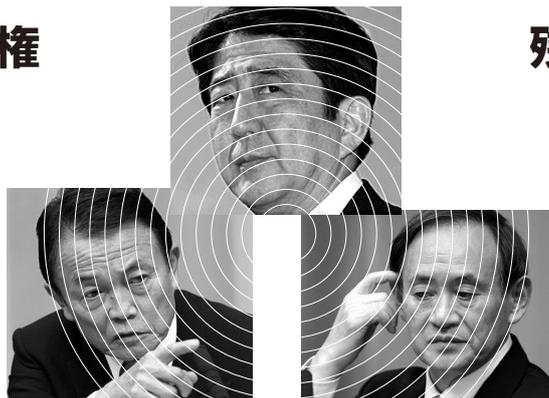
今こそ労働運動の力で 安倍政権を打倒しよう!

集团的自衛権

秘密保護法

原発の再稼働

沖縄基地建設



残業代ゼロ

解雇の自由化

派遣規制の撤廃

丸ごと民営化

闘う労働組合の全国的なネットワークをつくろうと訴え、日比谷野外音楽堂で毎年11月に労働者集会を開催してきました。労働運動の再生をめざす挑戦です。

私たちはいま歴史の岐路に立っています。安倍政権は集团的自衛権行使の閣議決定を強行し、憲法を踏みじり戦争に突き進んでいます。さらには社会保障制度や医療、教育など、人びとが生きていくあらゆる条件を破壊しています。労働組合が力を取り戻すことが今ほど求められているときはありません。

この集会は、国鉄1047名解雇撤回闘争への反動判決をきっかけに始まりました。国鉄分割・民営化は戦後最大の労働運動解体攻撃でした。私たちはこれを打ち破り、闘う労働運動を取り戻すことを決意しました。国鉄闘争は2010年「政治解決」を乗り越え、採用の基準自体が不当労働行為であったことを認めさせるところまで前進し、最高裁で正念場の攻防が続いています。

私たちも新たな闘いに立ち上がっています。全日建運輸連帯労組関西西

地区生コン支部は、生コン業界においてセメントメーカーやゼネコンなどの独占資本による支配構造を揺るがす力をもった産業別運動を生み出し、組織拡大を実現しています。

全国金属機械労働組合港合同は、「団結こそ命」をスローガンに企業の壁をこえて地域をひとつの労働組合として組織し、大阪・橋下市長の

労働基本権解体攻撃に真正面から立ち向かっています。

動労千葉は国鉄分割・民営化とその後の業務外注化に立ち向かい、JRと下請企業の労働者を一つにする新たな闘いに挑戦しています。

国鉄闘争全国運動は、国鉄分割・民営化の真実を暴き出し、国鉄闘争の発展を呼びかけています。

「戦争をする国」に変わる

→ 社会が一変していく

「戦争をする国に変わる」という問題は、社会のあり方を一変させます。学校と教育は抜本的に変わります。貧困を利用した徴兵（経済的徴兵制）が始まっています。文部科学省では、大学奨学金滞納者に返済免除を条件に自衛隊に入隊させることを検討しています。

民間フェリーで戦車を運ぶなど「有事」に備えた仕組みづくりが民間や自治体を巻き込んで大きく動き始めています。各職場から具体的に戦争に反対し、声を上げていくことが労働運動の大きな課題になってい

ます。

さまざまな攻撃に屈して労働者の権利を売り渡してきた労働組合の現状に怒りを持ち、苦闘しているすべての人に訴えます。戦後、これまで戦争を阻んできたのは、労働者民衆が闘ってきたからです。日本の労働運動は「二度と戦争はさせない」が原点でした。渦巻く怒りの声の先頭にたち、時代への危機感を集め、労働運動再生への力としよう。

すべての皆さんに、11.2日比谷野音・労働者集会への結集を心から呼びかけます。